

# 廃棄物処理建屋間連絡ダクト・対策の進捗状況

2016年5月26日



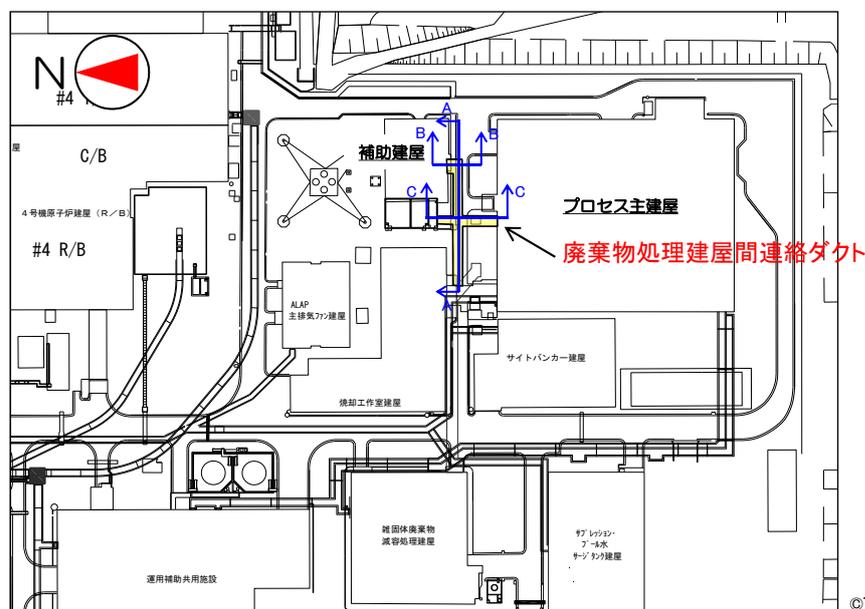
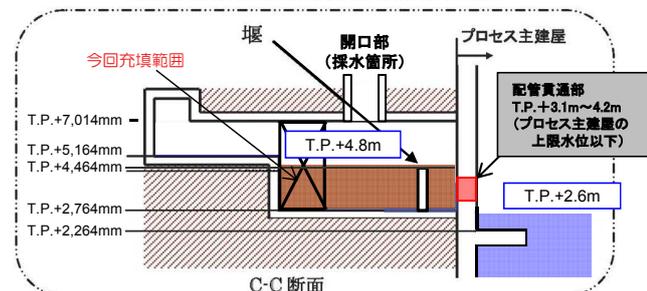
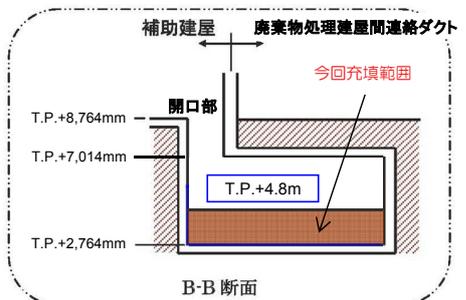
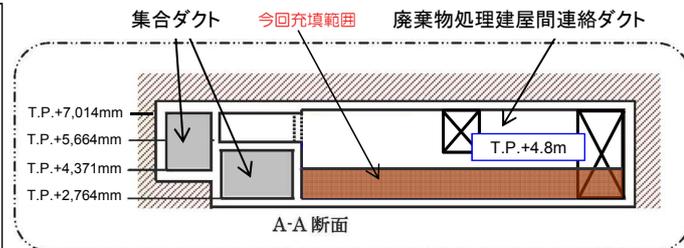
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.  
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1

## 廃棄物処理建屋間連絡ダクト・対策の進捗状況



- 2016年1月19日から水移送を行った結果、当該ダクトの水位はT.P. +4.3mを維持しており、継続的な流入がないことから、T.P.+4.3m以下を閉塞する。これにより、万が一のプロセス主建屋からの滞留水流出を防止することができる。なお、当該ダクト内に堰が設置しており、堰～プロセス主建屋間の滞留水を回収するため、堰の天端(T.P.約+4.7m)を上回るT.P.約+4.8mまで充填する。(合計・約280m<sup>3</sup>)
- 当該ダクト内の滞留水は、全て移送する。
- 5月10日に約50m<sup>3</sup>、16日に約48m<sup>3</sup>、20日に約75m<sup>3</sup>を充填(計・約173m<sup>3</sup>)。11日から水移送を実施。



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.  
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2